児童に見られるつまずき

　位ごとのまとまりを正しく理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　お金などの具体物を用いて、操作しながら説明させることで、場面と図、言葉を関連付けられるようにする

指導事例集ｐ．１９

１　学年・単元名　　第２学年　10000までの数（数と計算領域）

２　単元目標

　　十進位取り記数法に基づいてかずの表し方や大小を考えることができる。

３　単元の内容

**・10000未満の数の表し方**

**・100を単位とする数の相対的な見方**

４　本時の目標（①教科のねらい　②学び合い）

①1000をこえる数について、100を単位とした数の構成と分解を理解する。

②自分の考えを相手に説明することができる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階配時 | 学習活動 | 手立て（・）と評価の視点（☆教科　★学び合い）  **つまずきに対する手立て（◆）** |
| 見通す（５） | １、本時の課題をとらえ、解決の見通しを持つ。  100がいくつあつまっているか、せつめいしよう。  **。** | ・問題を読むことで、題意をつかめるようにする。  ・「身近なもので100のまとまりがないか」を考えさせることで、見通しを持たせる。 |
| 取り組む・学びあう（２０） | ２、自力解決をする。  ・百円玉や、千円札を使って考える。  ・「100が20こで2000」  ・「100が4こで400」  ・「合わせて2400」  参考：ノート  ３、考えたことを説明し合う。  ・ペアで交流する。  ・クラスで交流する。  参考：板書  ４、数の分解の問題を解く。  ・3200は100をいくつ集めた数か。 | ・100が10こでいくらかを問うことで、1000のまとまりを作ることができるようにする。  ・1000のまとまりを作るために、24を20と4に分けて考えさせる。  ☆百円玉や千円札を使って、数の構成、分解を進んで考えようとしている。  **・具体物を操作しながら説明させることで、図と言葉を関連付けられるようにする。**  **◆キーワードを黒板に提示することで、説明できるようにする。**  **・「100が〇こで」「合わせて」などのキーワードを提示する。**  ・説明を復唱させることで、説明の仕方がわかるようにする。  ☆100を単位とした数の構成ができる。 |
| まとめる（１８） | ５、本時の学習をまとめる。  100が10こで1000になることをつかう。  ６、適用題を解く  ・100を57個集めた数は。  ・8000は1000を何個集めた数か。  ・600＋800。 | ・ノートに記述させることで、本時の内容をつかめるようにする。  **◆お金を操作させ、100が10個で1000であることに着目させる。**  ・早くできた児童には、チャレンジ問題に取り組むよう指示する。  ☆数の相対的な見方を理解しているか。  ☆数の相対的な見方に基づいて、（何百）＋（何百）の計算ができたか。 |
| 振り返る（３） | ７、学習の振り返りをする。  ・はげみカードに記入する。  参考：はげみカード | ・学んだこと、気づいたことを振り返り、はげみカードに書かせるようにする。 |